

WCS 用飼料稲優良品種「つきすずか」の給与実証

要約

稲 WCS 専用品種「つきすずか」を乳牛1頭あたり原物で12kg/日給与したところ嗜好性が良好であり、十分な飼料摂取量が確保できた。また、夏季に乳量低下等があったものの、夏季以外では十分な乳量であった。

また、「つきすずか」を使うことで、搾乳牛40頭の飼料コストは3,292円/日の削減になった。

○ 展示のねらい

乳用牛において、地域コントラクタ組織が生産調製した稲 WCS 専用品種「つきすずか」利用体系モデルを実証し、稲 WCS の更なる生産・利用拡大を図る。

○ 主な成果

- ・給与実証を実施したところ、乳用牛の原物飼料給与量及び構成割合は、稲 WCS12 kg (30%)、コーンサイレージ 8 kg (20%)、乾草 1 kg (2.5%)、配合飼料 19 kg (47.5%) であった。稲 WCS は、乳用牛の嗜好性も良好で、夏季も十分な飼料摂取が確保できた。
- ・暑熱の影響により、9月、10月で乳量低下や、7月、8月の乳脂肪率の低下があったものの、搾乳牛1頭あたりの標準乳量から、十分な乳生産が得られており、この飼料構成でも乳生産が期待できると思われた。
- ・搾乳牛1頭あたりの飼料コストは、稲 WCS を多給したことで1日あたり82.3円/頭のコスト低減になった。今回の結果から、搾乳牛40頭規模で、3,292円/日と低コスト生産になることが確かめられた。

表1 乳生産（日乳量、乳質）検定成績の推移

調査月	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
搾乳頭数	54	54	52	47	47	46	53	52	51	48	45	41
標準乳量(kg)	35.0	31.5	34.1	30.6	33.4	34.6	34.7	33.1	34.9	35.4	31.4	31.5
乳量(kg)	31.4	27.8	29.9	26.7	28.6	28.9	30.9	28.4	29.9	28.8	26.2	26.2
脂肪(%)	3.48	4.16	3.72	3.74	3.42	3.70	3.48	3.73	3.33	3.32	3.58	4.08
蛋白質(%)	3.29	3.37	3.40	3.15	3.28	3.54	3.42	3.51	3.43	3.50	3.50	3.65
無脂固形(%)	8.58	8.93	8.89	8.67	8.80	9.05	8.90	8.99	8.92	9.00	8.90	9.11

表2 飼料費試算（円/頭・日）

	稲WCS	コーンサイレージ	乾草	TMウエットNT	配合飼料A	自家配合	合計
R1 (対照)	45	216	280	340	464	122.2	1,467.2
R2 実証	180	144	56	320	522	162.9	1,384.9
差額	-135	72	224	20	-58	-40.7	82.3

※注：合計は四捨五入で合致しないことがある。（差額 = R2実証 - R1参考 = -82.3円）

○ 今後の方向性

稲WCS専用品種「つきすずか」は乳牛の嗜好性が高く、飼料摂取量が低下しないため、さらに低コスト生産にも寄与することから、利用拡大を推進する。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部

実施場所：那須烏山市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315